

平成 30 年 3 月 23 日

養父市議会議長 深澤 巧様

予算特別委員会

委員長 勝地 貞一

予算特別委員会審査報告書

平成 30 年 2 月 27 日、本委員会に付託された事件は審査の結果、下記のとおり決定したので、養父市議会議規則第 101 条の規定により報告します。

記

1 審査年月日

平成 29 年 3 月 2 日（金）・ 5 日（月）・ 6 日（火）・ 8 日（木）・ 15 日（木）

2 審査結果

議案番号	事 件 名	審査結果
議案第 1 号	平成 30 年度養父市一般会計予算	原案可決すべきもの
議案第 2 号	平成 30 年度養父市国民健康保険特別会計予算	原案可決すべきもの
議案第 3 号	平成 30 年度養父市養父歯科診療所特別会計予算	原案可決すべきもの
議案第 4 号	平成 30 年度養父市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決すべきもの
議案第 5 号	平成 30 年度養父市介護保険特別会計予算	原案可決すべきもの

議案番号	事 件 名	審査結果
議案第 6 号	平成 30 年度養父市水道事業会計予算	原案可決すべきもの
議案第 7 号	平成 30 年度養父市下水道事業会計予算	原案可決すべきもの

### 3 審査意見書

別紙のとおり「平成 30 年度予算に対する意見」を付する。

# **平成 30 年度予算に対する意見**

**第 87 回定例会  
平成 30 年 3 月 23 日**

**予算特別委員会**

## 1 総括的事項

養父市議会予算特別委員会は、3月2日から15までの間、付託された平成30年度一般会計と4特別会計及び2企業会計の総額302億5,766万8,000円の当初予算について、慎重に審査を行った。

まず、一般会計の歳入歳出予算総額は179億円で、平成29年度当初予算の175億1,700万円より3億8,300万円増加している。

歳入の概要は、市税や使用料・手数料、繰越金、諸収入などの自主財源が42億6,669万5,000円(23.8%)で、地方交付税、市債、国・県支出金などの依存財源が136億3,330万5,000円(76.2%)と極めて高い状況にある。

また、歳入の普通交付税は、合併算定替により段階的な減額を見込んでいる。

一方、歳出は人件費、公債費、扶助費の義務的経費が65億5,158万1,000円(36.6%)、また補助費、繰出金、物件費などの経常的経費が92億9,591万2,000円(51.9%)を占めていることから、投資的経費は20億5,250万7,000円(11.5%)にとどまっている。

特記すべき平成30年度の大型プロジェクト事業として、養父市文化会館等建設事業は用地購入費及び設計費等を計上している。また、公共インフラの維持管理費や大型修繕費が増加し、投資的経費が対前年比9億9,517万4,000円の増額となっている。

市政運営は、「市民総活躍によるまち・ひと・しごと・ふるさとの創生」をテーマとし、これを推進するための取り組むべき3つの日本一を主な柱として、養父市の特性を生かした5つの重点施策を展開することとしている。

平成30年度は、合併15年を迎える。住民サービスや住民福祉の向上に向けて、地方創生への積極的な取り組みを更に充実・加速させ、安全・安心に暮らせるまちづくりが推進されることを期待する。

## 2 個別的事項

### 【議案第1号 平成30年度養父市一般会計予算】

(1) 公共施設の適正化を図るため、公共施設等総合管理計画に基づき、市が所有する公共施設を今後40年間で48%削減するとしている。市民に対し計画を十分周知し、行政の一方的な措置とならぬよう理解を得ながら進められたい。

(2) 平成29年度に引き続き、やぶパートナーズ株式会社への地域公社経

當委託料が予算化されているが、平成 29 年 6 月 12 日付、総務文教常任委員会調査報告書で求めた事項を誠実に履行しながら十分な検証を行い、その結果は遅滞なく議会、市民に公開するとともに、平成 31 年度には今後の明確な方向性を示されたい。

- (3) 但馬定住自立圏構想で専門職大学の誘致が進められており、若者が但馬に集まる契機となる。また、卒業生が、アートを切り口とした地域振興に取り組んでいる養父市を活動拠点とするなど、定住に向けた可能性も生まれる。行政として機を逸することなく、具体的な連携の取り組みを進められたい。
- (4) 市内には、公共的施設の整備のために財政上の特別措置を受けられる辺地が 5 地所指定されているが、熊次辺地以外の 4 地区は計画がない。その一つである明延地区は、日本遺産に認定された明延鉱山産業遺産等を活用し、交流人口の増加を図る事業など、基盤整備の必要性が出てくると予想される。このようなことから、4 地域についても計画的に辺地を活用した総合的な整備計画を作成されたい。
- (5) 高齢者の運転免許証の自主返納率を上げるために、運転をやめた後の移動や生活を支援する取り組みが有効と思われる。返納率向上の施策として、企業・団体等に返納者への特典について協力を求めるとともに、特に大屋、関宮地域においては、新たに始まる自家用有償旅客運送事業の利用の際の負担軽減について検討するよう、実施主体に働きかけられたい。
- (6) 公立病院、直営診療所など、市内の医療体制について長期展望を見据えつつ絶えず検証し、適切な地域医療のあり方を探求されたい。
- (7) 平成 31 年度税制改正において、森林環境譲与税（仮称）及び森林環境税（仮称）を創設することが閣議決定され、平成 31 年度から市が森林を整備するための財源が交付される。木質のバイオマス利用や路網整備などを視野に入れた担い手育成の新たな事業を立案するなど、財源の受け入れ体制を早急に整備されたい。
- (8) 市内には、幅員が狭く緊急車両等の進入さえ困難な区域があるため、現状を調査されたい。また、地区から要望のあった道路改修・修繕については、市民と情報を共有し、要望に沿った方策を講じられたい。

- (9) 消火栓は、初期消火設備として欠かせない設備であり、区から要望が出されている。消火栓の更新・修繕は、地域を守る自主防災組織等の要望であるため、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりのために早期の整備を図られたい。
- (10) 建屋小学校で小規模特認校制を導入し、児童を確保し学校の存続を図るが、地域住民が減少する現況下で、地域住民が自らの地域を守るという意識の高揚も必要不可欠である。事業の始まりは検証の始まりであるという考え方のもと、地域と連携・協働した円滑な事業執行に当たられたい。
- (11) 養父市都市公園施設は、プールの改修等を予定していることから引き続き市が管理運営することとしている。全天候運動場を含めた効率的な管理運営の手法を検証し、平成31年度に向けて最適な体制を構築されたい。

**【議案第5号 平成30年度養父市介護保険特別会計予算】**

- (1) 介護保険料については、県下一高い保険料を背景に一般財源を投入し市民の負担を軽減しているが、健康寿命の延伸に向けた健康づくり対策にもより一層力を注がれたい。

**【議案第6号 平成30年度養父市水道事業会計予算】**

**【議案第7号 平成30年度養父市下水道事業会計予算】**

- (1) 平成31年度に向けた上下水道料金の見直しが公営企業審議会で議論されている。上下水道料金は市民生活に大きくかかる公共料金であり、丁寧な説明を行いつつ、市民への周知徹底を図られたい。